

○二村仁眸・真柄翔一・糸井史朗・杉田治男（日大生物資源）

【目的】アルテミアは海産魚類やエビ類の初期餌料として世界的に利用されているが、*Listonella anguillarum* などの魚病細菌に汚染されやすいことが指摘されている。アルテミア耐久卵の細菌叢については2, 3の報告があるものの、いずれも種レベルでは解明されていない。そこで本研究ではアルテミア耐久卵が本来保持している細菌叢を明らかにすることを目的とした。

【方法】①米国産2社製および中国産1社製のアルテミア耐久卵を0~330%の人工海水濃度（通常濃度を100%とした）で調製した1/20 PYBG 寒天培地に接種し、25°Cで1週間好気培養した後、各寒天平板から無作為に釣菌して純粋培養を得た。②分離した菌株の16S rRNA 遺伝子をPCR増幅し、ABI 3130xl オートシーケンサーで塩基配列を解読し、分子系統解析を行った。

【結果】①供試した耐久卵の総生菌数は $9.3 \times 10^5 \sim 2.0 \times 10^7$  CFU/gであった。②主な出現菌種は、中国産では *Halomonas*, *Lysobacter*, *Psychrobacter*, *Planococcus* など、米国産では *Bacillus*, *Staphylococcus*, *Halomonas*, *Planococcus*, *Psychrobacter* などであった。③多くの分離菌株は耐塩性を有していた。